

令和2年度

山形県青少年健全育成県民大会



「元気かかし」 上山市立南小学校4年生

期 日 令和2年10月25日（日） 12：30～15：00

会 場 三友エンジニア体育文化センター（上山市体育文化センター）

令和2年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動 優秀標語(敬称略)

村山地区

ふせごうよ いじめウイルス 心のマスクで

河北町立谷地南部小学校 2年 後藤杏林

最上地区

気づいてよ ぼくのこころの ホイッスル

山形県立新庄養護学校 小学部4年 笠原永遠

置賜地区

だめだよと たった一言 その勇氣

小国町立小国小学校 2年 舟山莉夢

庄内地区

なやみごと なんでもはなせる あかるいかてい

酒田市立泉小学校 1年 佐藤菜央

主 催 山形県青少年育成県民会議

- 共 催** 村山地区青少年育成連絡協議会、山形県、山形県教育委員会、山形県警察本部
山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、山辺町
中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
山形市教育委員会、寒河江市教育委員会、上山市教育委員会、村山市教育委員会
天童市教育委員会、東根市教育委員会、尾花沢市教育委員会、山辺町教育委員会
中山町教育委員会、河北町教育委員会、西川町教育委員会、朝日町教育委員会
大江町教育委員会、大石田町教育委員会
- 後 援** 山形地方法務局、村山管内各市町青少年育成市町民会議
村山管内各市町青少年育成推進員会
山形県市長会、山形県町村会、山形県青少年補導連絡協議会
山形県少年補導員連絡会、山形県市町村教育委員会協議会
山形県連合小学校長会、山形県中学校長会、山形県高等学校長会
山形県私立中学高等学校協会、山形県特別支援学校長会
山形県P T A連合会、山形県高等学校P T A連合会
山形県私立中学高等学校P T A連合会、山形県特別支援学校P T A連合会
山形県子ども会育成連合会、山形県婦人連盟、山形県社会教育連絡協議会
山形県防犯協会連合会、山形県民生委員児童委員協議会
山形県消費生活団体連絡協議会、山形県交通安全協会
山形県交通安全母の会連合会、山形県青少年育成アドバイザー協議会
ボーイスカウト山形県連盟、ガールスカウト山形県連盟
日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会、山形県人権擁護委員連合会

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動を展開中です

昨今の青少年を取り巻く環境は、三世代同居の減少やひとり親世帯の増加、いじめ問題、不登校、児童虐待、地域社会におけるつながりの希薄化などが顕著になってきています。

加えて、近年はスマートフォン等IT機器の急速な普及、インターネットによる有害情報の氾濫、薬物乱用などが問題となっており、このような中で青少年が犯罪に巻き込まれる事件も発生しています。県民会議では、そのような社会情勢に鑑み、いじめの防止・非行防止にむけて、学校のみならず、地域・家庭が連携して「いじめ・非行を許さない、見逃さない」社会づくりをめざし、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動を展開しております。

表紙写真の紹介

テーマは「元気にがんばっているぼく、わたし」

「かみのやま温泉全国かかし祭」がコロナ禍でやむを得ず中止となっても、伝統を引き継ぎまちの元気につなげようと、上山市立南小学校4年生108人がかかしを製作しました。

● 大会次第 ●

山形県民の歌 斉唱

1. 開会の言葉 山形県青少年健全育成県民大会実行委員長 **伊藤 康 則**
2. 会長挨拶 山形県青少年育成県民会議会長 **鈴木 慈**
3. 歓迎の言葉 上山市長 **横 戸 長兵衛** 様
4. 表 彰
 - 山形県青少年育成県民会議表彰
 - (1) 青少年育成功労者 (14名)
 - (2) 青少年健全育成県民運動協力団体 (1 団体)
 - “いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の優秀標語・ポスター表彰
 - (1) 県内4地区の各最優秀標語の作者 (4名)
 - (2) 最優秀ポスターの作者 (1名)
5. 来賓祝辞 山形県知事 **吉 村 美栄子** 様
山形県議会議長 **金 澤 忠 一** 様
6. 大会宣言 上山市青少年育成市民会議会長 **堀 川 栄 助**
7. いじめ・非行防止セミナー
 - ◎事例発表 発表テーマ「山形市における青少年健全育成の取組み」
事例発表者 山形市青少年育成市民会議 副会長 **玉ノ井 一** 氏
 - ◎講演 (ビデオ講演) 演題：「いじめを予防するために、いじめを根絶しよう」としない
講師：合同会社 Art & Arts 社長 慶應義塾大学 SFC 研究所所員
「こども六法」著者 **山 崎 聡一郎** 氏
8. 閉会の言葉 山形県青少年健全育成県民大会副実行委員長 **菊 地 元 宏**

令和2年度 山形県青少年健全育成県民大会 受賞者紹介 (敬称略)

1. 県民会議表彰

(1) 青少年育成功労者

伊藤 淳一 (山形市)

平成22年6月から山形市青少年育成推進員となり、地域と行政の懸け橋となって活動しているほか、地区の青少年健全育成連絡協議会の活動にも積極的に関わり、青少年の健全育成のため活動している。また、山形市青少年指導センター指導員も兼務し、街頭指導活動などの青少年の非行防止活動にも率先して従事するなど、青少年育成に大きく貢献している。

恵山 孔善 (山形市)

平成22年6月から山形市青少年育成推進員となり、地域と行政の懸け橋となって活動しているほか、地区の青少年健全育成連絡協議会の活動にも積極的に関わり、青少年の健全育成のため活動している。また、山形市青少年指導センター指導員も兼務し、街頭指導活動などの青少年の非行防止活動にも率先して従事するなど、青少年育成に大きく貢献している。

斉藤 慎爾 (山形市)

平成22年6月から山形市青少年育成推進員となり、地域と行政の懸け橋となって活動しているほか、地区の青少年健全育成連絡協議会の活動にも積極的に関わり、青少年の健全育成のため活動している。また、山形市青少年指導センター指導員も兼務し、街頭指導活動などの青少年の非行防止活動にも率先して従事するなど、青少年育成に大きく貢献している。

高橋 豊 (山形市)

平成22年6月から山形市青少年育成推進員となり、地域と行政の懸け橋となって活動しているほか、地区の青少年健全育成連絡協議会の活動にも積極的に関わり、青少年の健全育成のため活動している。また、山形市青少年指導センター指導員も兼務し、街頭指導活動などの青少年の非行防止活動にも率先して従事するなど、青少年育成に大きく貢献している。

武田 直子 (山形市)

平成22年6月から山形市青少年育成推進員となり、地域と行政の懸け橋となって活動しているほか、地区の青少年健全育成連絡協議会の活動にも積極的に関わり、青少年の健全育成のため活動している。また、山形市青少年指導センター指導員も兼務し、街頭指導活動などの青少年の非行防止活動にも率先して従事するなど、青少年育成に大きく貢献している。

佐藤 衛 (河北町)

平成17年4月から河北町青少年育成推進員、平成21年4月から河北町青少年育成推進員会会長となり、青少年健全育成推進活動に尽力した。特に、体験型イベントである「べに花かほく探検隊」では、子どもたち自身が考え行動できるような企画の考案と運営に携わり、小学生の体験活動を支え、現在も、地区民の模範となる姿勢で活動を続けるなど、青少年の育成に大きく貢献している。

佐藤 勇一 (大江町)

平成12年4月から20年間にわたり大江町青少年育成推進員として、青少年の街頭指導及び夏祭り大会時の特別巡回指導、中高生ボランティアサークルの育成、放課後子ども教室や子ども会育成連合会行事の指導及びサポートなどの活動を続けられるなど、小中学生が参加する事業に積極的に関わり、青少年の育成に大きく貢献している。

村山茂暢(大江町)

平成12年4月から平成28年3月まで大江町生涯学習推進員として、中高生ボランティアサークルの育成、放課後子ども教室やだがしや楽校、ジュニアリーダー研修会の指導及びサポートを、平成28年4月から大江町青少年育成推進員となり、青少年の街頭指導及び夏祭り大会時の特別巡回指導、放課後子ども教室や子ども会育成連合会行事の指導及びサポート活動を行うなど、青少年の育成に大きく貢献している。

三原伸二(新庄市)

平成9年4月から新庄市青少年育成推進員となり、新庄市青少年育成市民会議が主催している茨城県高萩市との児童交流事業では、長年指導者として積極的に関わっているほか、市教育委員会が主催している教育の日の行事では、だがしや楽校を開催し、子ども達ヘッドクラフトなどの作成指導を行っているなど、青少年の育成に大きく貢献している。

齊藤菊雄(最上町)

平成8年6月から最上町青少年育成町民会議事務局長となり、長年にわたり積極的に青少年健全育成を目的とした地域パトロールや各種啓蒙活動、地域の青少年が参加している活動、祭りにも参加し、地域の子どもたちを見守ってきたほか、若手育成の指導者としても積極的に活動を行っているなど、青少年の育成に大きく貢献している。

八鍬啓一(最上町)

平成9年4月から最上町青少年育成推進員、同年6月から最上町青少年育成町民会議役員となり、青少年健全育成を目的とした地域パトロールやあいさつ運動、各種啓蒙活動にも尽力され、若手育成の指導にも積極的に活動している。また、平成22年10月から最上町社会教育委員となり、その立場からも青少年に関わってきたほか、地域の見守り隊として青少年を見守っているなど、青少年の育成に大きく貢献している。

沼澤 慈(真室川町)

平成22年4月から真室川町青少年育成推進員及び真室川町青少年指導委員となり、町内の駅における中高生に対するあいさつ運動や子どもたちとの清掃活動のほか、高校生ボランティアが中心となって開催している子ども遊び天国「えんにち」に準備段階から参加し青少年の社会力の育成を図っている。また、平成30年度から2年間、真室川町青少年育成町民会議事務局長として、町民会議が行う青少年育成活動の運営に尽力するなど、青少年育成に大きく貢献している。

吉田 こずえ(米沢市)

平成18年4月から米沢市南部コミュニティセンター活動推進員及び青少年育成南部地区民会議事務局員となり、長年にわたり青少年育成事業の企画運営に尽力し、特に「わくわく体験教室」、「ふれあい大運動会」、「夏祭り」、「ふれあいポプラ祭(文化祭)」等の事業において、地域の一員として青少年の活動の場を設定し、一緒に活動を行い事業を成功に導いてきた。また、米沢市青少年育成市民会議の市民大会や環境づくり懇談会等の行事の際に運営委員として参加するなど、青少年育成に大きく貢献している。

須貝 智(南陽市)

平成18年4月から南陽市青少年育成推進員及びきらきらEKUBOキッズ実行委員会、南陽市青少年育成市民会議代議員、平成30年4月から置賜地域青少年育成連絡協議会副会長、同年6月から山形県青少年育成県民会議理事などを務められた。特に、青少年の体験活動と世代間交流を基にした青少年リーダー育成事業「きらきら・EKUBOキッズ」では、実行委員会会長として企画・運営に携わり、市内全域における様々な体験を通じて青少年の豊かな心と社会力の育成に大きく貢献された。

現在も、きらきら・EKUBOキッズ活動サポーターとして青少年の健全育成に継続して取り組まれているほか、南陽市立沖郷中学校の教育振興会会長として南陽市少年教育の中心的な役割を担われているなど青少年育成に大きく貢献している。

(2) 青少年健全育成県民運動協力団体

米沢BBS会（米沢市）

平成20年の会創設以来、地域の中の非行や罪を犯した青少年に声を掛け、一緒に黒米づくり、社会福祉施設での車いす磨き、公園等のクリーン作戦、市内青少年団体との交流を「ともだち活動」として取り組み、活動後は、そば打ち体験交流会や芋煮会、収穫祭等、参加者が楽しく交流しあえる機会を設定して地域と子供たちの絆を深め、子供たちの健全育成と非行防止につなげているなど、青少年健全育成県民運動の推進に大きく貢献している。

2. 優秀標語作者

※受賞作品は表紙に掲載

○村山地区	河北町立谷地南部小学校	2年	後藤	杏林
○最上地区	山形県立新庄養護学校	小学部4年	笠原	永遠
○置賜地区	小国町立小国小学校	2年	舟山	莉夢
○庄内地区	酒田市立泉小学校	1年	佐藤	菜央

3. ポスターデザイン最優秀作品作者

※ポスターは会場内に掲示

山形県立遊佐高等学校 3年 門脇らな

(作品の説明)

命を大切に、楽しく生きて欲しいという意味を込めて、笑顔の男の子を描きました。また、ハッキリとした色を使うことで明るさを表現しました。

村山地区青少年育成連絡協議会の活動

地域の魅力を語り合う「未来フォーラム」 ～創造型ワークショップ～

昨年11月、村山市と連携し「未来フォーラム」を開催し、「れいわこれいわ！令和版地域の魅力再発見～おらほのまちじまん2019～」と題し、ワークショップ（対話会）を行いました。

当日は、市内の小中学生と地域の大人、合わせて150名の参加を得て、小中学校に分かれて話し合いを行いました。地域の魅力をみんなで共有することで、今後、どうしていきたいか、自分たちができることはないか、などを具体的に考えて発表しました。

以下、話し合いであがったまちじまんをいくつか紹介します。

- あいさつ ○ 夏祭り ○ 大黒舞（伝統芸能）
- 地域の人とのふれあい ○ ボランティア ○ 子ども教室（地域体験活動）

ワークショップを通して、地域の魅力を再確認するとともに、これからの地域の在り方を考えるきっかけとなりました。話し合った内容は学校や地域と共有し、これからの地域づくりにつなげていくこととしました。地域の宝である子供たちを地域の大人たちがしっかり関わって育てようという思いのもと、続けてきたこの取り組みですが、今年度は諸般の事情により残念ながら中止となりました。家庭・地域・社会の一員として子どもたちが心ゆたかに健やかに成長することを願って行われてきた事業ですので、来年度以降も継続して開催できるよう期待しているところです。



いじめ・非行防止セミナー

事例発表

山形市青少年育成市民会議の活動発表

発表者 山形市青少年育成市民会議 副会長 **玉ノ井 一** 氏
発表テーマ 「山形市における青少年健全育成の取り組み」

山形市青少年育成市民会議は、青少年問題のもつ重要性にかんがみ、広く市民の総意を結集し、次代をになう青少年の健全な活動及び育成を図ることを目的としています。

高校生を対象としたマナーアップ啓発活動や、親子で参加して楽しめるイベントなどの事業を通して青少年と交流しながら、健全育成に資するための活動に取り組んでいます。

また、自ら伸びようとする青少年の自覚を高めるとともに、明るい家庭や地域づくりを進めるため、各小中学校での児童・生徒会の活動や個人の善行に対する表彰、「家庭の日」標語の募集・表彰などの事業を展開しています。



講演

「いじめを予防するために、いじめを根絶しようとしなさい」

講師 合同会社 Art & Arts 社長 慶應義塾大学 SFC 研究所所員
 「こども六法」著者 **山崎 聡一郎** 氏

～プロフィール～

「こども六法」著者、教育研究者、写真家、俳優
 合同会社 Art & Arts 社長、慶應義塾大学 SFC 研究所所員。
 慶應義塾大学総合政策学部卒業、一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。
 学部2年より「法教育を通じたいじめ問題解決」をテーマに研究活動を開始。
 現在は、いじめ問題に関する研究・情報発信を行いながらミュージカル俳優としても活動。
 それぞれの活動で相乗効果を発揮することを目指している。



大会宣言(案)

青少年の健やかな成長を願う人々が、県内各地から上山市に集い、ここに、令和2年度山形県青少年健全育成県民大会が開催されました。

青少年が心身ともに健やかに、人間性・社会性豊かに成長することは、県民すべての願いであり、青少年が豊かな個性と能力を培い、未来に夢と希望を持って自立した人間として成長できるよう、私たち大人は青少年の思いをしっかりと受け止め、青少年の生きる力を育んでいく必要があります。

しかしながら、青少年を取り巻く社会環境はめまぐるしく変化しており、家族形態の多様化、地域社会とのつながりの希薄化やいじめの問題に加え、インターネット利用を介したトラブルや有害情報の氾濫、薬物乱用などが問題となっており、このような中で、青少年が犯罪に巻き込まれる事件が、依然として後を絶ちません。

さらに、今年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大により、学校生活や日常生活にも大きな影響が及ぶ中で、青少年が受ける精神的な負担もより大きなものとなっております。

このような状況下だからこそ、青少年一人ひとりが安心できる環境の中で、幸せに育ち、自立できるよう、学校、家庭及び地域が互いに密接に連携し、社会全体で青少年の健全育成を推進することが、一層、強く求められております。

私たちは、この大会を契機として、「青少年を地域で見守り、育み、支援する」ことの大切さを改めて認識し、青少年健全育成県民運動に一丸となって取り組み、運動の輪を広げていくことをここに宣言します。

令和2年10月25日

令和2年度山形県青少年健全育成県民大会